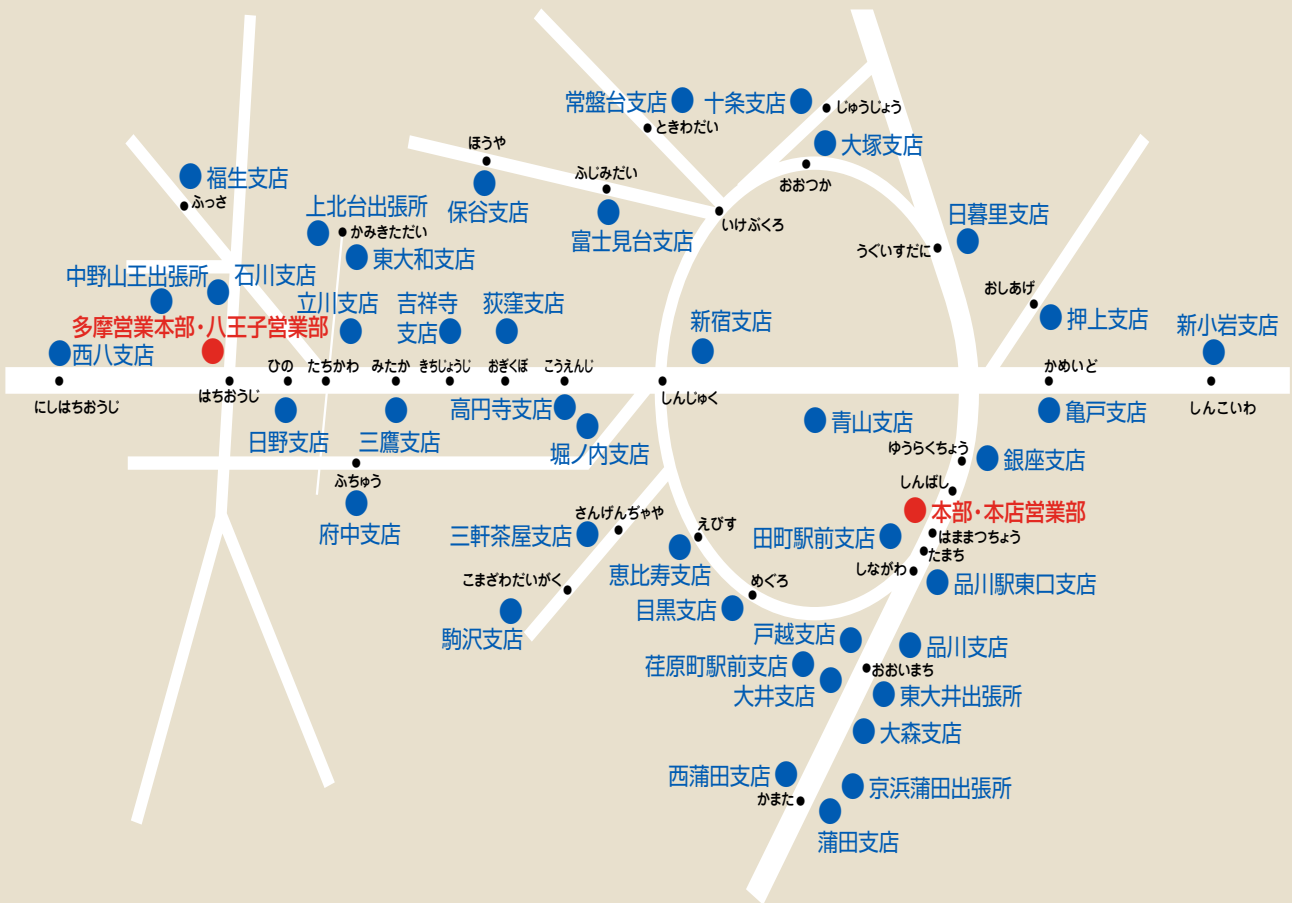


# 大信の近況ご報告

平成16年9月

## 都内にひろがる店舗・サービス網



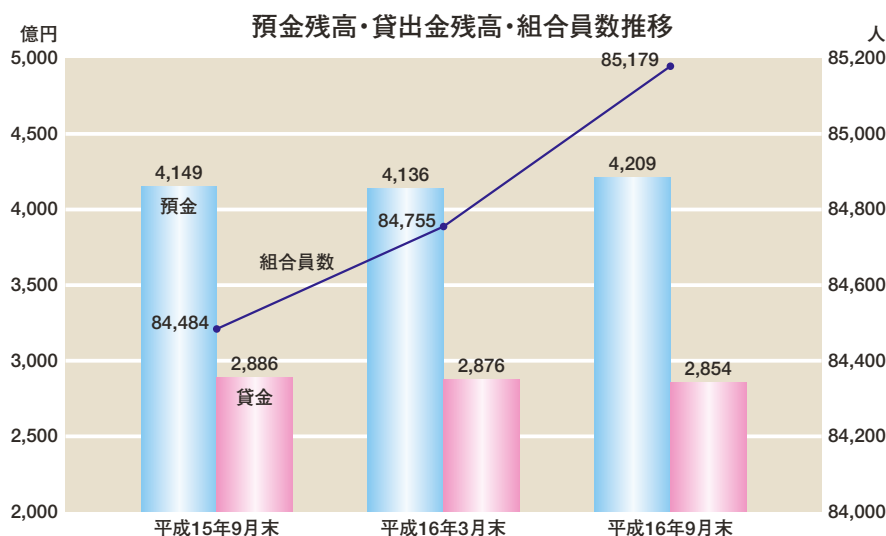
(本資料に掲載されている9月末の計数につきましては、仮決算のため監査法人の法定監査を受けたものではありません。)



ホームページアドレス (URL) <http://www.daisin.co.jp/>

# 平成16年9月期の業績

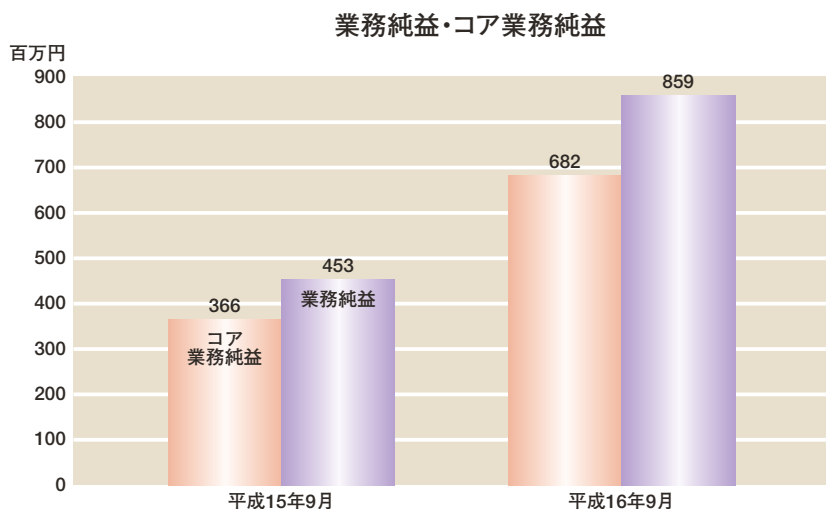
## お客様の信頼を得て預金・組合員数は順調に増加



預金の業容は順調に伸展し、預金残高は前年同期比1.4%増加し4,209億円となりました。一方、貸出金は事業再生を中心に積極的に推進しましたが、中小零細企業の資金需要が低迷する中、不良債権の処理を進めたこともあり、貸出金残高は前年同期比1.1%減少し、2,854億円となりました。

また、組合員数は前年同期比695名増加し、個人・法人総数で85,179名となり、普通出資金は前年同期比303百万円増加し、6,904百万円となりました。

## 業務純益は前年同期比89.7%増加、8億59百万円



収益は、本業である預貸金業務に特化した事業展開による収益改善を更に進めて取り組んだことと併せて経費の削減等経営の合理化に努めました結果、業務純益は前年同期比89.7%増加し、8億59百万円を確保することができました。

また、本業による実質的利益を示すコア業務純益は、前年同期比86.2%増加し、6億82百万円と大幅増益となりました。



## 不良債権比率は更に改善され8.45%に

(単位:百万円,%)

区 分	金融再生法で定められた債権の状況							
	平成16年3月末				平成16年9月末			
	債権額	保全額	保全率	構成比	債権額	保全額	保全率	構成比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	13,641	13,641	100.00	4.7	13,478	13,478	100.00	4.7
危険債権	10,254	9,030	88.06	3.5	10,149	8,454	83.29	3.5
要管理債権	912	611	66.99	0.3	839	537	63.98	0.3
(小計)	24,808	23,283	93.85	8.5	24,467	22,470	91.83	8.5
正常債権	266,932			91.5	264,932			91.5
合計 (総与信)	291,741			100.0	289,400			100.0

不良債権比率は前年同期(15年9月10.46%)比2.01%と大幅改善されました。

(注)1. 単位未満を切捨てて表示しているため、掲載金額の合計と表中合計額とは一致しないことがあります。

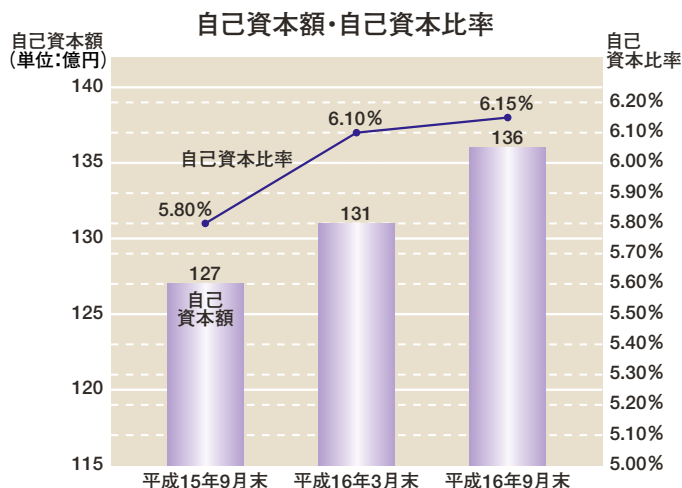
2. 総与信とは貸出金と貸出金以外の債権(貸付有価証券、外国為替、未收利息、仮払金および債務保証見返)の合計額です。

## 自己資本額順調に増加、自己資本比率6.15%に向上

(単位:百万円)

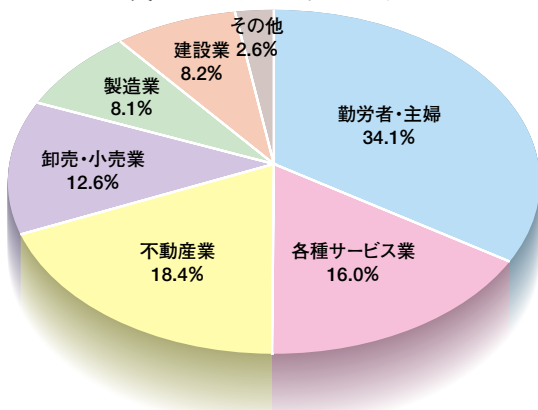
自己資本比率			
項目	平成15年9月末	平成16年3月末	平成16年9月末
自己資本比率	5.80%	6.10%	<b>6.15%</b>
自己資本額	12,782	13,178	<b>13,683</b>
基本的項目	10,447	11,073	<b>11,532</b>
補完的項目	2,335	2,105	<b>2,151</b>
控除項目	—	—	—
リスク・アセット(総資産額)	220,034	215,841	<b>222,403</b>

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額}(13,683)}{\text{総資産額}(222,403)} \times 100 = 6.15\%$$



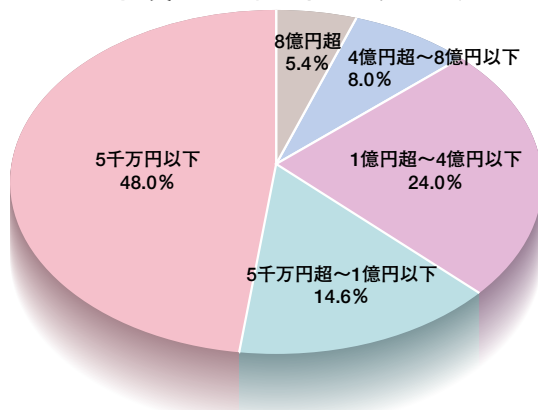
## 貸出金は小口多数で各業種に分散され強い取引基盤を確立

貸出金業種別残高構成比



大信の貸出先は、特定の業種に偏ることなく、地元の中小企業及び個人の皆様に広く分散されております。大信は、地元でお預りした預金は地元に戻すことを基本姿勢として、地元の皆様のニーズに積極的にお応えすることで地域の振興発展のためにお役に立つことを基本的な使命としております。

1先当り貸出金額段階別残高構成比



大信の1先当りの貸出金は1億円以下が62.6%(うち5千万円以下が48%)と小口の貸出が過半を占めており、リスク分散をはかりながら堅固な取引基盤を確立しております。特定先への貸出金の集中や法令違反となるような大口貸出は一切ありません。

## 安全性重視の有価証券運用・評価損益は前年同期比改善

(単位:千円)

有価証券の取得原価、時価、貸借対照表価額および評価損益						
項目		取得原価	時 価	貸借対照表価額	評価損益	
有 価 証 券	売買目的有価証券	平成15年9月末	—	—	—	
		平成16年3月末	—	—	—	
		<b>平成16年9月末</b>	—	—	—	
	満期保有目的の債券	平成15年9月末	6,517,811	6,471,639	6,517,811	▲46,172
		平成16年3月末	7,284,155	7,264,823	7,284,155	▲19,332
		<b>平成16年9月末</b>	<b>7,538,384</b>	<b>7,634,847</b>	<b>7,538,384</b>	<b>96,462</b>
	その他有価証券	平成15年9月末	33,568,382	34,061,245	34,061,245	492,863
		平成16年3月末	50,486,715	51,307,514	51,307,514	820,798
		<b>平成16年9月末</b>	<b>22,000,616</b>	<b>22,458,388</b>	<b>22,458,388</b>	<b>457,771</b>
	計	平成15年9月末	40,086,193	40,532,885	40,579,057	446,691
		平成16年3月末	57,770,871	58,572,338	58,591,670	801,466
		<b>平成16年9月末</b>	<b>29,539,001</b>	<b>30,093,236</b>	<b>29,996,773</b>	<b>554,234</b>

(注) 1. 「その他有価証券」の評価方法は時価法を採用しております。「その他有価証券」については、時価評価に換算した上で貸借対照表価額としていますので、評価損益は取得原価と貸借対照表価額の差額を計上しております。

2. 本表に掲げる取得原価は、償却原価から各期の減損処理額を控除した後の金額を記載しております。

# 平成16年9月期 仮決算状況

## 貸借対照表

(単位:千円)

資産の部				負債及び組合員勘定の部			
科 目	平成16年9月	平成15年9月	平成16年3月	科 目	平成16年9月	平成15年9月	平成16年3月
現 金	6,917,692	6,291,287	7,053,648	預金積金	420,952,197	414,968,627	413,695,067
預 け 金	111,456,957	91,979,110	73,229,025	借入金	1,540,000	1,540,000	1,540,000
有価証券	29,996,773	40,579,057	58,591,670	その他負債	1,331,842	1,374,341	1,561,778
貸 出 金	285,446,611	288,606,852	287,617,504	退職給付引当金	1,002,112	925,450	971,368
その他資産	2,456,848	2,357,738	2,376,668	役員退職慰労引当金	220,141	242,987	273,042
動産不動産	9,181,162	9,560,325	9,146,632	再評価に係る繰延税金負債	160,664	206,850	160,664
繰延税金資産	2,355,588	3,148,782	2,402,583	債務保証	3,651,361	4,051,027	3,832,582
債務保証見返	3,651,361	4,051,027	3,832,582	負 債 計	428,858,319	423,309,284	422,034,503
貸倒引当金	△10,203,388	△12,024,981	△10,086,890	組合員勘定	12,401,286	11,239,915	12,128,924
(うち個別貸倒引当金)	(△9,823,152)	(△11,527,064)	(△9,752,748)	うち普通出資金	6,904,144	6,601,304	6,605,060
				うち優先出資金	1,050,000	1,050,000	1,050,000
				うち資本剰余金	1,050,000	1,050,000	1,050,000
				うち利益剰余金	2,730,222	1,746,260	2,507,580
				(当期純利益)	(361,731)	(183,368)	(843,362)
合 計	441,259,606	434,549,200	434,163,427	合 計	441,259,606	434,549,200	434,163,427

## 損益計算書

(単位:千円)

科 目	平成16年9月	平成15年9月	平成16年3月	科 目	平成16年9月	平成15年9月	平成16年3月
経常収益	5,254,518	5,067,798	10,335,856	特別利益	5,342	64,898	1,229,353
資金運用収益	4,776,177	4,698,898	9,531,960	特別損失	41,941	30,647	167,117
貸出金利息	4,491,565	4,420,836	8,979,194	税引前当期純利益	532,389	301,928	1,579,257
預け金利息	122,176	89,092	200,445	法人税・住民税及び事業税	10,000	—	20,000
有価証券利息配当金	96,875	123,409	286,760	法人税等調整額	160,658	118,559	715,895
その他の受入利息	65,560	65,560	65,560	当期純利益	361,731	183,368	843,362
役務取引等収益	226,213	226,122	449,914	前期繰越金等	418,491	230,891	332,218
その他業務収益	232,908	107,002	273,467	当期末処分剰余金	780,222	414,260	1,175,580
国債等債券売却益	224,027	86,404	141,214				
国債等債券償還益	316	352	88,203				
その他の業務収益	8,564	20,245	44,049				
その他経常収益	19,217	35,775	80,513				
経常費用	4,685,529	4,800,121	9,818,834				
資金調達費用	219,169	249,479	474,417				
預金積金利息	203,264	233,560	442,573				
借入金利息その他	15,905	15,919	31,843				
役務取引等費用	194,814	197,093	400,391				
その他業務費用	47,331	108	36,033				
経 費	3,914,372	4,132,233	8,759,792				
その他経常費用	309,841	221,206	148,199				
経常利益	568,988	267,677	517,022				

(注) 9月は仮決算速報の処理としております。(注) 記載金額は単位未満切り捨てて表示しております。



# リレーションシップバンキングの機能強化計画の取組状況

## 大信はリレーションシップバンキング機能強化を最重要課題として地域経済の活性化に貢献すべく全力を傾注してまいります

平成15年3月金融庁から「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」が公表され、これに基づき地域金融機関は平成16年度末までの2年間で集中改善期間とする「リレーションシップバンキングの機能強化計画」を策定し、これを具現化することが求められました。このため大信は「リレバン委員会」を設置して計画の策定と継続的かつ効果的な取組みを図る態勢を構築しました。

大信はリレーションシップバンキングの取組みを最重要課題としており、平成17年3月末の集中改善期間終了に向けて機能強化計画に掲げたスケジュールに沿ってお取引先の目線に合わせたリレーションシップバンキングの施策としての事業再生等を推進し、地域経済の活性化に寄与・貢献するとともに、大信の健全性確保と収益性向上に全力を傾注してまいります。

## リレーションシップバンキングとは大信の営業活動そのものです

リレーションシップバンキングとは、「金融機関がお客様との間で親密な関係を長く維持することによりお客様に関する情報を蓄積し、この情報をもとに貸出等の金融サービスの提供を行うことで展開するビジネスモデル」であるとされています。すなわち協同組織金融機関としての大信の目指す方向と同じであり、大信の営業活動そのものがリレーションシップバンキングといえることができます。

## 平成16年9月までの全体的な進捗状況

平成16年度も引き続き企業の再生支援と地域の中小企業、個人事業者の資金ニーズへの対応に取組み、実績も徐々に上がり機能強化計画推進の効果が顕れております。また、お客様への説明態勢の整備、苦情・相談処理機能の充実などコンプライアンスの強化に向けた取組みを実施し、経営の健全化に向けた自己査定厳格化、ガバナンスの強化、更には情報開示にも着実に成果が顕れております。

### 個別項目に対する取組みと成果について

#### (1) 中小企業金融の再生に向けた取組み

- ①事業再生プロジェクトチームを中心に活動した結果、平成15年度（年間）159件、平成16年度（上期）44件のランクアップの成果を得ました。
- ②新商品を中心とした事業再生向け融資に取組んだ結果、平成15年度（年間）78件6,326百万円、平成16年度（上期）28件4,569百万円の成果を得ました。
- ③経営情報については景況調査、経済講演会等を中心に取組み、ビジネスマッチングに資するべく対応については、研究会等による異業種交流会等の場を提供しました。
- ④人材の育成については、期間を通じて外部研修への積極的な派遣や組合内研修を多く実施し、内容強化に取組んでおります。

#### (2) 各金融機関の健全性の確保・収益性の向上等に向けた取組み

- ①資産査定の正確性・適正性の強化については、自己査定委員会を設置し態勢を強化するとともに、内部的には「内部査定者ライセンス制」を導入し、査定者のスキルアップに努めております。
- ②本年度より経営課題と連動した新しい業績評価制度の導入や店舗の収益管理態勢を整備する等収益力の強化に努めております。

※詳細は当組合のホームページ「リレーションシップバンキングの機能強化計画の進捗状況」（16年9月期）をご参照下さい。

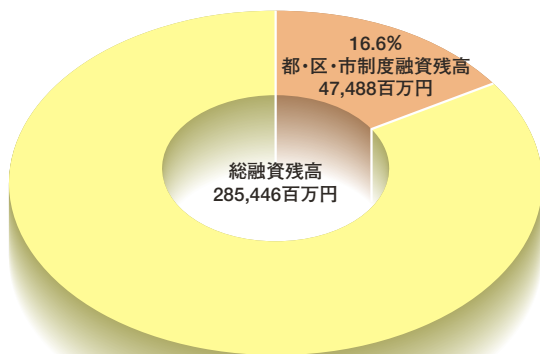


# 大信の地域貢献活動&トピックス

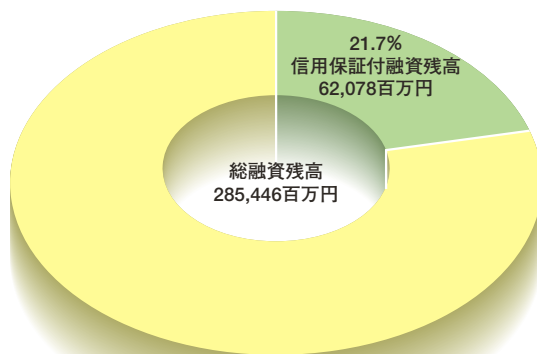
## 制度融資や信用保証付融資を通じた地元中小企業への支援と地域活性化に貢献

大信は地域のお取引先の資金ニーズにお応えするため、都・区・市の中小企業向け制度融資と東京信用保証協会の保証付融資を積極的に取り組んでおります。平成16年9月末現在の都・区・市制度融資残高は47,488百万円で、総融資残高285,446百万円に占める割合は16.6%となっています。また、信用保証付融資残高は62,078百万円で総融資残高に占める割合は21.7%に達しており、都内信用組合のトップの実績を誇っています。

都・区・市制度融資残高割合



信用保証付融資残高割合



## (財)あすなる会に対し42年間にわたり賛助活動を継続

大信は昭和37年に大信創立10周年の記念事業として、「勤労青少年の育成と社会福祉向上」を目的に財団法人あすなる会を設立しました。以来大信は社会・地域貢献活動の重要な柱と位置づけ、(財)あすなる会の活動に対して基金・賛助会費、寄付金などを拠出、会事務所の提供、職員の派遣など、物心両面にわたり42年間支援を継続しております。

(財)あすなる会の活動は、英会話教室、茶道教室等の教養教室の他、ハイキング、祝成人・新年のつどい、あすなる祭等のイベント、さらに賛助会員の方々を対象とした中小企業経営研究会、大信と共催の合同時局講演会等多岐にわたり活発に行われております。これらの活動の基盤は大信と大信39店舗のお取引先1,000社を超える賛助会員のご協力によって支えられております。

平成16年5月29日～30日  
「山中湖ロードレース大会」



平成16年6月6日  
栃木県足利市でのハイキング



平成16年9月5日開催「あすなる祭」  
ワーキングホリデーメーカーを囲んでの記念撮影



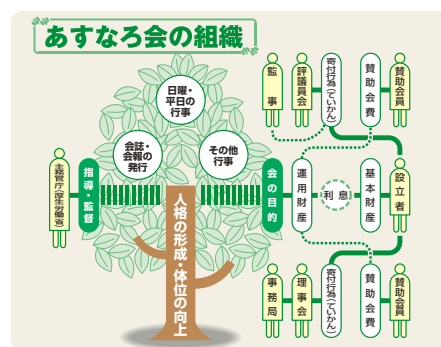
平成16年7月14日～15日  
賛助会員を対象とした「第74回中小企業経営環境研究会」(箱根湯本)



ご講演の岡野雅行様



ご講演の岩井奉信先生





## 都内中小企業景況調査の実施により経営情報を提供

大信は、各店舗のお取引先のご協力を得て毎年5月と11月の2回都内中小企業の景況調査を実施し、その結果を小冊子にまとめ経営参考資料として提供しております。調査対象先は従業員50人未満の企業を中心に、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種726社に達し、大信職員による聞き取り方式で実施しております。平成16年5月で第46回を数え、平成15年5月の第44回景況調査からは都内23区と多摩地区に分けて地域性を反映した調査を行っております。



## 講演会等の開催により積極的にお取引先との紐帯強化

### ■だいしん経営研究会が森永卓郎先生「中小企業の今後と日本経済」の第3回講演会を開催

多摩地域の事業経営者を中心とした「だいしん経営研究会（略称しん研）」は、平成16年9月8日（水）八王子営業部大ホールにおいて第3回講演会及びチェロコンサートを開催しました。はじめにチェロの演奏を久木田薫様、伴奏を久木田淑子様（ピアノ）によるチェロコンサートが行われ、「白鳥、浜辺の歌、荒城の月」等著名な曲を演奏され、参加者は心地よい時を過ごされました。引き続きテレビ等でお馴染みの森永卓郎先生をお迎えして「中小企業の今後と日本経済」と題するご講演をいただきました。会員を中心とする総勢130名が参加され、明快で示唆に富んだ講演は大変好評でした。



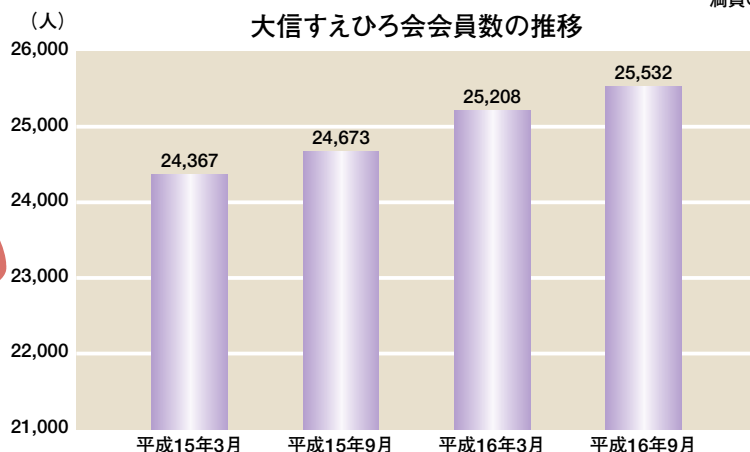
ご講演の森永卓郎先生

### ■第19回大信すえひろ観劇会は梅沢武生・梅沢富美男・前川清特別公演が大好評

平成16年7月2日第19回大信すえひろ観劇会が明治座（昼の部）を借り切って、NHKテレビでお馴染みの梅沢劇団、梅沢武生・梅沢富美男・前川清特別公演を1,300名を超えるお客様のご参加をいただき開催されました。今回は前川清さんに高円寺支店のお客様・小暮ケイ様、梅沢富美男さんに銀座支店のお客様・高橋重子様、梅沢武生さんに本店営業部のお客様・村松瑠子様から花束贈呈が行われました。大信すえひろ会は、年金の受取口座を大信にご指定いただいているお客様の会で、会員は毎年着実に増加し平成16年9月末現在で25,532名に達しております。



満員の会場（明治座）



## 各店舗は地元に着した「心・ふれあい」の地域貢献活動を積極的に展開

### 青山支店

年2回青山商店会連合会・青山環境美化委員会主催による「青山美化ピカ清掃大会」に地元商店、住民の方々と協力し、町を清掃しております。



### 亀戸支店

平成16年7月8日支店会議室においてお取引先の組織「亀友会」が79名の会員の参加を得て講演会を開催しました。



### 高円寺支店

昭和43年から毎年8月氷川神社例大祭に男子職員が地元高円寺南中央町会の会員として神輿担ぎに参加しております。



### 荏原町駅前支店

平成16年6月16日第40回「荏原ダイアンズクラブ」(年金友の会)誕生祝賀会が90名の参加を得て盛大に開催されました。



### 吉祥寺支店

毎年9月恒例の「吉祥寺秋祭り」に地元町会五日市通り親交会の一員として支店長以下男子職員が神輿担ぎで参加しております。



### 品川支店

毎週朝3回(月・水・金)に当店前道路(旧東海道)、裏通り(元なぎさ通り)他周辺の清掃活動を行なっております。



### 大塚支店

毎年9月に行われる地元天祖神社祭礼に支店長以下男子職員が折戸睦会町会の一員として神輿担ぎで参加しております。



### 大森支店

平成16年8月6日地元大森町共栄会商店街サマーフェスティバルに全職員が緑日の手伝いで協賛参加しました。



### 目黒支店

昭和49年から30年間毎朝当支店隣の清水稲荷神社境内を清掃しております。平成14年5月社団法人日本善行会から表彰されました。



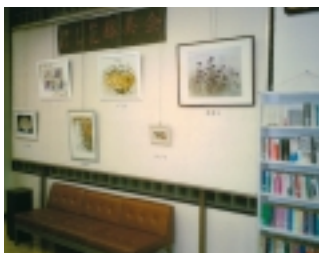
### 押上支店

平成16年9月18・19日に地元町会主催の祭礼に模擬店の手伝いや神輿の担ぎ手として支店長以下男子職員が参加しました。



### 石川支店

地域の皆さんの趣味(写真、押し花、ちぎり絵等)の会にロビーを開放し、定期的に作品展を開催しております。



### 富士見台支店

毎年9月に地元本町通り商店街主催の「花笠踊り」に全職員が参加し、軽快な音楽に合わせて地元の皆様と商店街を練り歩きます。



### 駒沢支店

毎年8月地元駒沢三丁目町会の納涼盆踊り大会が駒沢緑泉公園で行われ、職員が全員参加しております。



### 常盤台支店

ひと足早い秋祭り。6月より地元町会の神輿を支店のロビーに展示しております。熊野神社の秋祭りには、この神輿が町内を練り歩きます。



### 戸越支店

5年前より地元の皆様へ支店ロビーを開放し、絵手紙や写真などの作品展を開催しております。



### 立川支店

平成16年8月14・15日熊野神社例大祭に男子職員が立川市高松町大通り神輿パレードに神輿の担ぎ手として参加しました。

